

環境の世紀 13 第 8 回講義 12 月 10 日 (月)
東京大学 マテリアル工学科 教授 足立 芳寛
<EPR とリサイクル法>
講義要旨



EPR (拡大生産者責任) をテーマにリサイクルを考察する。アカデミズムとして行う以上、基軸を持つことが必要だ。ここでは歴史論を軸に考察し、進化論の限界として環境問題を捉える。また、温暖化対策における定量目標値の設定までの歴史を、概観することで、定量値の存在の重要性を学ぶ。

次に日本のマテリアルフローから経済合理性について考察し、サプライチェーンとリサイクルチェーンの調和の必要性を学ぶ。更に EPR の歴史と思想、リサイクルの実情を学び、最後には初期条件・境界条件を考慮した最適なシステムデザインを模索することが必要だとする。

情報爆発の時代において、今後、社会へ出ていく学生に求められるものは、受信し覚えることではなく、発信していくことである。そして、発信するために必要なコツは結晶化、すなわちまとめることだ。